

(1)利用者状況

(a) 利用者数

	実人員	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	225	20	1	148	50	6	1	17
障害児	17	1	0	6	0	1	0	6
計	242	21	1	154	50	7	1	23

(b) 相談等利用状況 6,895 件

(2) 社会生活力を高めるための支援

パソコンを利用して個々に応じた課題を設定し、社会生活力や就業スキル、コミュニケーション能力を高める機会を設けた。

また地域の行事に合わせて下記の日程で土日や夜間にセンターを開所し利用登録者や地域の方にご利用いただいた。

\*百縁笑店街 5月19日(土)、7月14日(土)、9月15日(土)、10月13日(土)

\*敦賀まつり 9月1日(土:午後)、2日(日:午後)、

3日(月・18時半~21時)、4日(火・18時半~21時)

(3) 職員の派遣依頼及び派遣状況

①敦賀市地域自立支援協議会の運営会議・相談支援部会・専門部会への参加

就労支援部会	年12回	在宅者地域支援部会	年6回
地域生活支援部会	年6回	権利擁護・虐待防止部会	年2回
療育部会	年4回		

就労支援部会に関しては、事務局と協力し幹事センターとして部会運営を行った。

②二州地区精神事例検討会企画委員会 (平成30年度開催なし)

③地域移行・地域定着促進連絡会 (平成30年度開催なし)

④嶺南東特別支援学校保護者会にて相談事業所周知 (平成30年7月)

(4) 苦情件数 0件

#### 4. 嶺南障害者就業・生活支援センターひびき

##### 1. 施設の概要

(1)事業所名称 嶺南障害者就業・生活支援センターひびき

(2)所在地 敦賀市神楽町1丁目3番20号(こだま内)

(3)事業名 障害者就業・生活支援センター事業(雇用安定等事業)の受託(国事業)  
障害者就業・生活支援センター事業(生活支援等事業)の受託(県事業)  
福井県障害者等雇用促進支援事業(県単事業)

(4)目的 障がい者の職業生活における自立を図るためには、就職や職場適応などの就業面の支援ばかりでなく、生活習慣の形成や日常生活の管理など生活面の支援も重要であり、身近な地域で、就業及び生活面において、一体的かつ総合的な支援を提供することが必要である。

このため、就職を希望する者、職場不適応により離職した者や離職のおそれがある在職者など、就職や職場への定着が困難な障がい者に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行う障害者就業・生活支援セン

ター事業を実施することにより、障がい者の雇用促進及び職業の安定を図る。

- (5)対象地域 嶺南福祉圏域
- (6)利用対象者 嶺南福祉圏域に居住し、職業生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援を必要とする障がい者であって、次の条件に該当する者とする。
1. 就職するため、また、継続的に雇用されるために、就業に係る支援と同時に日常生活において相当程度の支援が必要な者
  2. 一旦就職したものの、職場不適應を起こし離職若しくは休職するおそれがある者又は職場不適應により離職した者若しくは休職している者等職場定着のために継続的な支援が必要な者
- (7)事業内容
- (a)支援対象者の把握と周知広報
- ①関係機関との情報交換
- (b)就職に向けた支援
- ①支援計画の策定 ②基礎訓練の実施 ③職業準備訓練、職場実習の斡旋
  - ④就職支援の実施
- (c)在職者に対する支援
- ①職場定着プログラムの策定 ②職場定着支援の実施 ③職場不適應へ対応
  - ④雇用継続が困難な場合の対応 ⑤事業主に対する雇用管理に関する助言
- (d)支援対象者等に対する日常・生活上の指導・助言
- ①相談に対する指導・助言の実施 ②巡回障害者就業相談会の実施
- (e)その他
- ①関係機関連絡調整会議の実施 ②関係機関等に係る情報の提供
  - ③公共職業安定所、福井障害者職業センターとの連携
  - ④支援担当者の研修
- (8)職員
- |           |        |
|-----------|--------|
| センター長     | 1名     |
| 主任就業支援担当者 | 1名(兼務) |
| 就業支援員     | 2名     |
| 生活支援員     | 1名     |
| 障害者雇用相談員  | 1名     |
- (9)併設・提携施設
- |      |             |        |
|------|-------------|--------|
| 併設施設 | 敦賀市立やまびこ園   |        |
|      | ワークサポート陽だまり |        |
| 提携施設 | (福) 若狭つくし会  | つくしの家  |
|      | (福) 二州青松の郷  | ひまわりの家 |
|      | (福) はこべ福祉会  | はこべの家  |

## 2. 平成30年度事業実施内容

(1)利用者状況	343名
(2)就職件数	36名
(3)職業準備訓練の斡旋	0名
(4)職場実習の斡旋	36件
(5)相談・支援の件数	2,509件

- |                                 |              |
|---------------------------------|--------------|
| (6)事業主に対する雇用管理相談                | 661 件        |
| (7)事業所数                         | 118 事業所      |
| (8)苦情受付件数                       | 0 件          |
| (9)職員の会議派遣等                     |              |
| ① 福井労働局、職業センター、その他関係機関主催会議      | (8 回)        |
| ② 福井障害者就業・生活支援センター 連絡調整会議       | (1 回)        |
| ③ 福井県自立支援協議会「就労支援部会」            | (2 回)        |
| 同 上 「人材育成部会」                    | (6 回)        |
| 同 上 「相談支援部会立上げ検討会議」             | (1 回)        |
| ④ 嶺南各市・町障害児(者) 自立支援協議会 実務者部会    | (32 回)       |
| ⑤ 就職サポート会議(会議出席・視察・派遣等)         | (14 回)       |
| ⑥ ジョブガイダンス(ハローワーク敦賀、小浜)         | (2 箇所(6 日間)) |
| ⑦ 障害者就業・生活支援センター中部・北陸ブロック経験交流会議 | (1 回)        |
| ⑧ 相談支援従事指導者研修 福井県として派遣          | (1 回)        |
| ⑨ 障害者職業生活相談員資格認定講習 講師派遣         | (1 回)        |
| ⑩ 障害者雇用助成金事業所説明会 講師派遣           | (1 回)        |
| (10)まとめ(事業内容ベース)                |              |

- (a) 年度を通じての支援計画・基礎訓練・準備訓練・職場実習・就職支援を実施し 36 名の登録者が一般就労を実現した。
- (b) 上記 36 名の就労者を含め、登録者 343 名に対する就職相談支援及び在職者の定着支援を実施。事業主支援として 118 事業所の相談・支援を実施した。事業所の依頼を受け、障害者雇用の導入に関するコーディネートや職場定着支援を実施した。
- (c) 就業及び就業生活に関する相談・支援を 2,509 件実施した。安定した就業に必要な「安定した生活」を実現するための相談を含め、「対処困難な相談内容(触法・生活困難)」「想い(自己実現)を実現する為の相談」と内容は多岐にわたる。
- (d) 連絡調整会議を実施するとともに、関係機関との連携を重視した活動を実施した。また、一般就労を目指す本人と障害者雇用をしたい事業主のお互いの利益のために、ハローワーク及び就労移行支援事業所と連携を図るため、月 1 回のペースで「就職サポート会議」を実施した。
- (e) 在職者を対象とした「ひびき在職者交流会」において「ストレスケア」をテーマとした全四回の講座を福井障害者職業センターの協力の下、ひびき職員が自ら企画立案するとともに、講師として同講座を開催し 25 名が修了した。

## 5. 共同生活援助事業

地域社会の中で、利用者が「普通の暮らし」を営めるように、個人の生活スタイルを踏まえながら、様々な活動場所と連携し支援を行った。

また、地域に溶け込み、自立した生活の充実さを感じられるような支援、それぞれの意思を尊重した支援を継続した。

### (1). グループホーム桜ヶ丘

福祉施設が多く立ち並ぶ地区に立地しており、近隣住民とあいさつを交わしたり、地域のお祭りに参加したりと、地域にうまく溶け込んでいる。また、一つ屋根の下で生活を共にし、利用者全員が家族のように暮らすアットホームなグループホームである。

<施設の概要>

名 称	グループホーム桜ヶ丘 A棟 B棟
-----	------------------

所 在	敦賀市桜ヶ丘町 5 番 43
土 地	1,266.06 m <sup>2</sup> (借地、市有財産)
建物構造	木造アルミニウム板ぶき平屋建
建物面積	318.32 m <sup>2</sup> (159.16 m <sup>2</sup> ×2 棟)
サービスの種類	共同生活援助事業
定 員	10 名 (5 名×2 棟)

## 1. 入居者状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

### ①年齢別数

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	計
男	0	1	3	2	2	1	9
女	0	0	0	0	0	1	1
計	0	1	3	2	2	2	10

※平均年齢 55 歳 9 ヶ月

### ②日中活動先 (内訳)

ワークサポート陽だまり (3)、野坂の郷 (1)、手をつなぐ育成会たんぼぼ (1)、はあとぼーと桜ヶ丘 (1)、株式会社ラボウェル (1)、はこべの家 (1)、スマイルビーチカフェ (1)、一般就労 (1)

## 2. 支援内容

職員は、管理者 1 名 (やまびこ園兼務)、サービス管理責任者 1 名 (専従)、世話人 3 名 (内 1 名は専従の嘱託職員)、生活支援員 2 名 (やまびこ園兼務 2 名) の体制で行った。

利用者の重度高齢化に伴い、夜間の安心・安全のため、利用者や保護者からの要望も多かった宿直を 10 月から開始した。合わせて、重度高齢化していく利用者に対して、入浴などの清潔保持や居室清掃などの身辺整理の部分で、よりきめ細やかな支援を行ってきた。その他にも、個別での余暇外出や買い物支援の充実も図り、生きがいをもって楽しく生活することに重きを置いた。

### ① 生活支援

入居者の障害支援区分や自立性の違いから、個々に合わせた支援が必要であり、かつ高齢化に伴い、髭剃りや爪切りなど整容面での支援や、掃除や洗濯など基本的な身の周りのことも、職員や世話人が行うことが多くなった。

また、ほぼ毎日、世話人が出勤することで、朝夕の温かい食事を提供することができただけでなく、利用者の体調変化にもすぐに対応することができた。

その他にも一緒に買い物へ出かけたり、衣替えをしたり、居室の清掃を行ったりと、利用者それぞれの希望や自立度合に合わせた支援を行ってきた。

### ② 日中活動支援

個々のケースに応じて、日中活動先への定期的な訪問や連絡及びケース会議等により連携体制を築き、楽しく働くことの大切さや生きがいを得られるように支援した。また、高齢の利用者の働き方についても、日中活動先と調整を行い職場の変更に至ったケースもあった。

### ③ 健康管理支援

利用者の高齢化に伴い、内科・皮膚科・外科などへの受診の回数も増え、職員が受診のための付き添いをするが増えた。

必要な利用者には、朝夕に血圧や体温を測り、健康チェックも行ってきた。さらに、服薬に関しても、飲み忘れが無いように声掛けや確認をし、適宜、健康に関するアドバイスも行ってきた。

また、毎日の食事に関しては、栄養バランスを考えた食事の提供を心掛けた。

### ④ 相談支援 (苦情解決の取り組みを含む)

利用者が相談しやすいように、職員や世話人が随時相談を受けられる体制を整え、さらに、